

1. 報告書提出日

2024 年 4 月 1 日第 3 回報告

2. 基本情報

氏名：小林萌子

派遣クラブ・カウンセラー：福山南ロータリークラブ・後藤昇三さま

受入クラブ・カウンセラー：Bristol Breakfast Rotary Club・Ms. Mary Whittington

教育機関 専攻分野：Social Policy

3. 学業面での成果

イギリス生活もあっという間に 7 ヶ月経ちました。そこで、来年オーストラリアでフィールドワークをする準備を本格的に始めました。私の研究テーマは、オーストラリアで行われたイギリス核実験です。この核実験は、実験終了後 60 年以上経つ今もイギリス・オーストラリア国外はもとより両国でもよく知られていません。これは学術の世界でも一緒に、その歴史や今なおつづく人々・環境への影響などに関して、研究は十分に行われていません。私が研究テーマに選んだ主な理由もこのリサーチギャップを埋めて、世界の「ヒバクシャ」の社会的認識を深めたかったからです。

10 年少し前に修士論文を書いた時には、オーストラリアに交換留学生として 1 年留学してフィールドワークをしていたのですが、今回も、なるべくどっぷりとオーストラリアに腰を据えて調査したいと常々思っていました。そこで、年明けあたりから具体的に準備をはじめ、以前留学していたオーストラリア国立大学にビジター資格で籍をおいて研究することが決まりました。オーストラリア国立大学は、オーストラリアの首都キャンベラに位置することから、周囲には優れた研究施設が集まり、アボリジニー研究・歴史研究・社会学研究さまざまな分野で秀でた研究が行われています。また、政治と教育の都市として、大都会ではなく緑がいっぱいで私の大好きな都市です。

オーストラリア国立大学滞在中は、指導教官として、アボリジニーの歴史を研究する Silverstein 先生に指導教官になってもらうことも決まりました。イギリス核実験はアボリジニーの人たちの土地を使って行われ、アボリジニーコミュニティに今なおつづく影響を及ぼしています。このことを探っていく上でアボリジニーの歴史・社会問題に詳しい研究者にアドバイザーになってもらいたいと思っていたので、Silverstein 先生が快く指導を引き受けてくださったことをとても嬉しく思っています。

オーストラリアは季節がイギリスと真逆なので、2 月（オーストラリアの秋）に新学期が始まることにあわせて、おそらく 12 月か 1 月にオーストラリア入りすることになりそうです。それまでは、イギリスで調査を進め、オーストラリアでのフィールドワークをより実のあるものにしていく予定です。引き続き、自分の可能性を自分で広げることを大切にしながら、今後も研究を楽しんでいきたいと思います！

4. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

ロータリーのみなさんは、よく気にかけてくださりとても心強いサポーターです。お正月明けには、カウンセラーの Mary さんのお家におじゃまして、ホームパーティーを楽しみました。建築家の Mary さんは、スポーツ万能なのですが、手も器用なようで、料理が非常にお上手かつ好きみたいです。おじゃました日にいただいた料理は、最初の前菜から最後のデザートまで素晴らしく、おそらくこれまでイギリスで食べた（15 年前にイギリス留学していた時も含めて）料理の中でトップ 3 に入るレベルで大満足の食事

でした。また、私のために数日かけて準備してくださったその心遣いに本当にありがたいと思う気持ちでいっぱいになりました。

その他にも、ロータリー主催で行われる若手（10 代）音楽家コンクールの地区決勝大会コンサートやサーカススクール見学などに一緒に行かせていただき、なかなか他の学生が経験できないことをさせていたでています。これからもこのご縁に感謝しながら過ごしていきたいと思っています。

5. 直面した課題、問題点等

特にありません。

6. 今後の課題、目標

やっと春がやってきました！3 月最終日曜日にサマータイムも始まりました。これから夏にかけて、イギリスでのフィールド調査を進めていく予定です。

7. その他特記事項

いつもご丁寧なご対応、本当にありがとうございます。



Mary さんの絶品家庭料理です。前菜からデザート、ソース、パンに至るまですべて手作りでした。



おそらく桜！だと思います。